

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

9月5日(金)から10月2日(木)まで、9月定例市議会が開催されました。教育委員会関係の議案を可決・認定いただくとともに、関連の質疑もありました。今回から3回に渡り、9月定例市議会のご報告をします。

1. 可決いただいた教育委員会関係事項

○食材の価格高騰に伴う学校給食費の増額(約1,300万円)

○考古博物館、少年自然の家の改修工事費(約1億円)

故障した考古博物館のエレベータ、少年自然の家のエレベータ及びプラネタリウム室のエアコンを改修。

○放課後保育クラブの移設費(約700万円)

南行徳公民館内の放課後保育クラブを南行徳小学校の敷地内に移設。なお、移設後の南行徳公民館内に「サポートルームふれんど市川」と類似機能の設置を検討。

(総合教育会議における教育委員会からの提案の2つ目、4つ目関連事項
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/common/pla01/file/0000493178.pdf>)

○第三中学校南側斜面地整備工事請負契約

○令和6年度決算の認定

2. 代表質問での主な質疑(その1)

○学校給食の質の保持【西村敦議員(公明党)】

(議員)給食費単価を値上げした額で、物価高騰の中、学校給食の質をしっかりと保っていけるのか。
(学校教育部長)千葉県産米による米飯も平均週4回を維持し、農産物も市川市産や千葉県産を積極的に仕入れ、主菜、副菜、汁物の品数もこれまで通り提供し、質、量ともに物価高騰前と変わることなく、栄養バランスに配慮した給食を継続している。

○小中学校の食育推進【竹内清海議員(未来市川)】

(議員)食の大切さを伝えるため、小中学校でどのような調理実習を行っているのか。市川シビックロータリークラブでも市川市朝食選手権を開催している。
(学校教育部長)小学校では、切る、ゆでる、炊く、炒めるといった基本的な調理を学習し、中学校では、生の肉や魚を使った調理を行い、基本的な調理に加え、衛生面や焼く場合の火加減についても学ぶ。

○特別な支援が必要な子供の小学校就学までの連携【稲葉健二議員(創生市川・自民党第1)】

(議員)早めに子供の特性を学校と幼児教育施設が共有し、就学する際に気を付けることを在園中から取り組めるようにすべきと考えるが、見解如何。
(学校教育部長)現在、幼児教育施設との情報共有は2月上旬より行っているが、より丁寧な連携を図る期間を確保するために関係部署と検討を進める。

○平和学習青少年派遣事業の派遣先【細田伸一議員(創生市川・自民党第2)】

(議員)当該事業の派遣先について、長崎・広島だけでなく、日本人の誇りをもって亡くなっていった方たちが展示されている知覧や鹿屋などの施設に派遣することはできないのか。
(総務部長)本市が核兵器廃絶平和都市宣言を行っていることから、広島と長崎を対象とし、平和祈念式典の参列などより深く平和意識の高揚が図られるため派遣先としてきた。知覧や鹿屋、都内などの施設も平和意識高揚の効果があるのであれば、調査研究し、柔軟に派遣先を検討したい。

○小中学校の学校司書【清水みな子議員(日本共産党)】

(議員)本市では全ての小中学校に学校司書が配置されているが、仕事内容など学校司書の位置づけを伺う。
(学校教育部長)学校司書の業務は、学校図書館の管理運営、教員が行う読書指導や利用指導の支援、教員への資料や情報提供など。学校司書は、校長のリーダーシップの下で、各校の司書教諭などと連携・協力しながら役割を果たしている。